

科目名	コンサートプロダクト4							年度	2026
英語科目名	Concert Product 4							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 イベント企画コース 2年次	必/選	選	時間数	270	単位数	9	種別※	実習
担当教員	濱野歩/山本璃空		教員の実務経験		有	実務経験の職種		クリエイター	

【科目の目的】

エンタメ業界スタッフ・イベントプランナーとしての基礎力を身につける。
イベント企画の基本構造（企画→計画→制作→告知宣伝→運営→効果検証）を理解し、実現可能な企画を完遂するスキルを身につける。

【科目の概要】

<イベント企画コース>
イベントの基本構造（企画→計画→制作→告知宣伝→運営→効果検証）を理解する。
実現可能な企画を立案し、参加者に評価をいただけるイベントとして運営するスキルを身につける。
企画書、プレゼンテーションなどの資料作成に必要なITツールを活用できるスキルを身につける。

【到達目標】

- A 企画アイデアを立案するための発想力を身につけ、アイデア出しに必要な手法を理解できる
- B 主催者や交渉相手に説明するために企画書を作成でき、プレゼンテーションを実施できる
- C 適切な実施計画を策定し、チームワークをとりながら制作進行することができる
- D ターゲットに対し適切なPRプランを策定し、マーケティングをもとに効果的な告知宣伝を行うことができる
- E 学内イベントや外部会場を使ったイベントの企画やブッキング、運営を行い、効果検証ができる

【授業の注意点】

授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消する事。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	アイデア立案の手法を理解し、優れたアイデアを考案できる		アイデア立案の手法を理解し、アイデアを考案できる		アイデア立案の手法を理解していない
到達目標 B	アイデアを企画書にまとめ、聞き手が納得感のあるプレゼンテーションができる		アイデアを企画書にまとめ、プレゼンテーションすることができる		企画をプレゼンテーションにまとめることができない
到達目標 C	適切な実施計画を策定でき、チームで協力しながら制作進行できる		実施計画を策定でき、制作進行できる		実施計画を策定できない
到達目標 D	適切なPRプランを策定し、ターゲットに対し効果的なツールで告知宣伝できる		PRプランを策定し、告知宣伝できる		PRプランを策定できない
到達目標 E	参加者から評価していただけるようなイベントを運営できる		スケジュール通りイベントを運営できる		イベントを運営できない

【教科書】

資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

*積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		コンサートプロダクト4			年度	2026		
英語表記		Concert Product 4			学期	後期		
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価		
1	目標設定	コース概要、スケジュール説明	1 課題概要	コースで学ぶ内容について解説できる	2			
			2 イベント実施フロー	中規模なイベント実施フローを解説できる				
			3 目標設定	良質なエンターテインメント、イベントの成功について解説できる				
2	学園祭イベント①	学園祭イベントを通じてイベントづくりの応用スキルを身につける	1 授業進行の理解	授業進行について解説できる	2			
			2 ファシリテーション	チームで議事進行、合意形成ができる				
			3 実施計画	スケジュールを策定し、プロジェクトの進捗管理ができる				
3	学園祭イベント②	学園祭イベントを通じてイベントづくりの応用スキルを身につける	1 イベント実施フローに則ってイベント企画 ・制作 ・告知宣伝 ・運営準備	イベントの基本構造（企画→計画→制作→告知宣伝→運営→効果検証）を理解し実践できる。実現可能な企画を立案し、プレゼンテーションできる。実施計画を策定しスケジュール通り進捗管理できる。ターゲットに対し効果的なPRプランを策定し実施することができる。安全にお客様にご参加いただけるイベントを運営できる。アンケート結果などから定量的・定性的な結果検証ができる。企画書、プレゼンテーション資料作成やフライヤーデザインなどで必要なITツールを活用できる。	2			
4	学園祭イベント③				2			
5	学園祭イベント④				2			
6	学園祭イベント⑤				2			
7	まとめ	結果検証	1 イベント運営	イベントを運営できる	2			
			2 イベント進行	イベントの進行を実施できる				
			3 イレギュラー対応	トラブルやイレギュラーな事象に対し柔軟に対処できる				
8	卒業イベント①	企業連携・卒業イベントを通じて、イベントづくりの応用スキルを身につける	1 結果検証	イベント実施結果を定性的、定量的に分析できる	2			
			2 レポート作成	実施結果についてチームでディスカッションし改善案を提示できる				
			3 実施報告書作成	外部組織に報告する実施報告書を作成・提出できる				
9	卒業イベント②	企業連携・卒業イベントを通じて、イベントづくりの応用スキルを身につける	1 イベント実施フローに則ってイベント企画 ・制作 ・告知宣伝 ・運営準備	イベントの基本構造（企画→計画→制作→告知宣伝→運営→効果検証）を理解し実践できる。実現可能な企画を立案し、プレゼンテーションできる。実施計画を策定しスケジュール通り進捗管理できる。ターゲットに対し効果的なPRプランを策定し実施することができる。安全にお客様にご参加いただけるイベントを運営できる。アンケート結果などから定量的・定性的な結果検証ができる。企画書、プレゼンテーション資料作成やフライヤーデザインなどで必要なITツールを活用できる。	2			
					10	卒業イベント③	2	
					11	卒業イベント④	2	
12	卒業イベント⑤				2			
13	卒業イベント⑥				2			
14	卒業イベント⑦	イベント本番	1 イベント運営	イベントを運営できる	2			
			2 イベント進行	イベントを進行できる				
			3 イレギュラー対応	トラブルやイレギュラーな事象に対し適切に対処できる				
15	まとめ	結果検証	1 結果検証	イベント実施結果を定性的、定量的に分析できる	2			
			2 レポート作成	実施結果についてチームでディスカッションし改善案を提示できる				
			3 実施報告書作成	外部組織に報告する実施報告書を作成・提出できる				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等